

研究構想シート	学校名	安来市立第一中学校
	氏名	野津 奈美子
A 研究主題 つながり、高め合う生徒の育成 ～生徒が主体的に取り組む授業のための指導のあり方～		
B 研究の目的 自ら考え、行動できる個の確立と、自己を認め、支え合い、学び合える集団づくりを実現する		
C 子どもの実態 集団の中で自分の考えを出し、協力し合う良さを感じる生徒が増え、生徒会が中心となって行う学校行事の取組や、生徒が企画・運営する学年集会等を通して、生徒たちの一体感が醸成されている。一方で、自己肯定感、自己有用感、自分で考えやり遂げる力、学習への主体的な取組、高め合う集団づくりについては、さらに向上が望まれる状況にある。また現在、学習面または行動面においての困難があり、適切な支援を必要とする生徒が各学年にいるため、集団の中での個に応じた支援の工夫が必要である。	E 手立て・内容（研究仮説） ①生徒が主体的に取り組む、関わり合って学びを深める授業の手立てを考え、実践すれば、自分で考え目標をもち、実行できる生徒が育つであろう。 ②授業や様々な活動の中で、いろいろな意見をもつひとと関わり合う場を設定し、解決や目標の達成のための手立てを考え、実践すれば、互いに認め合い、尊重できる生徒が育つであろう。 ③横のつながりと縦のつながりを大切にして、一人一人の居場所をつくる活動を意図的に設定し、個や集団への手立てを考え、実践すれば、互いに支え合い、よりよい集団をつくるための努力ができる生徒が育つであろう。	D めざす子どもの姿 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で気づき、考え、目標をもち、実行できる生徒</li> <li>・いろいろな意見をもつ人と関わり、互いを認め合い、尊重できる生徒。</li> <li>・互いに支え合い、よりよい集団をつくるために努力できる生徒。</li> </ul>
	F 検証方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒へのアンケートの結果と分析（各学期）</li> <li>・行事や活動後の生徒自己評価記述（総括的評価）</li> <li>・授業記録、研究協議記録</li> </ul>	
	G 研究計画 研究の重点 ICTを活用した授業改善 前年度の取組の紹介 教科部会① 今年度の取組 実践 「来て、見て授業」1人1授業 人権同和教育研修会 タブレット端末勉強会 ICT研修会への参加 教科部会② 今年度のふり返り 教科部会報告 全体で共有	